

アグリサイエンス科通信



アグリサイエンス科通信 NO. 7 令和3年12月16日発行

発行：京都府立丹後緑風高校久美浜学舎 編集：アグリサイエンス科



Top News

第49回 毎日農業記録賞 優良賞！！

毎日農業記録賞は、毎日新聞社が主催するもので、「農」や「食」、「農に関わる環境」への思いや体験、提言をつづった作品を表彰する取組です。

一般部門と高校生部門があり、高校生部門へ応募した2年木本翔太さんが「優良賞」を受賞しました。（京都府内で1位の賞です。）農業に興味を持ったきっかけや、現在課題研究で取り組んでいる海洋高校のユニ・ヒトデ堆肥を活用した栽培の研究内容を中心に、自分の体験や思い、卒業後の進路目標などを3000字程度にまとめた内容が高く評価されました。

（令和3年11月19日（金）の毎日新聞にも大きく掲載されました）



海洋高校訪問



木本翔太さん 丹後緑風2年

先進地視察研修②

11月19日（金）、10月に引き続き、2回目の先進地（上級学校）視察研修を行いました。今回は大阪府枚方市にある「摂南大学農学部」を訪ねました。

本農学部は開設されてまだ2年目を迎えた新しい学部であり、大阪府内唯一の農学部です。

①農業生産学科、②応用生物科学科、③食品栄養学科、④食農ビジネス学科の4学科があります。午前中は農学部や各学科の説明、午後からは真新しいキャンパスや農場の見学を行いました。

大学に初めて来た生徒も多く、高校の学びと大学の研究との違いを感じたり、大学で学んでみたいと意欲をのぞかせたりする生徒も多数いました。



わくわく Kitchen⑤

11月18日（木）、食品コースでは、（株）紫野和久傳様にお世話になり、わくわく kitchen⑤を実施しました。

今回も丹後の伝統食をリクエストし、①鯨の浅漬けへしこ風、②桑茶御飯、③こっぺ蟹の具沢山味噌汁の3品を教えてくださいました。

丹後の冬の味覚である鯨やこっぺ蟹、農場で栽培した大根やブロッコリーも活用し、大変素晴らしい出来栄となり、美味しくいただきました。御指導、ありがとうございました。



アグリサイエンス科一期生の声



木本 翔太
(峰山中)

ぜひ、丹後緑風高校へ。

農業の魅力

・自分で育てたものを食べる喜び。

生産コースの魅力

・実習がメインで専門知識を身に付けることができる。

農業クラブ

・校内意見発表会で選ばれると、京都府連盟大会に出場できる。



後藤 祥汰
(久美浜中)
硬式野球部

優しい先生が丁寧に教えてくれます。

農業の魅力

・作物を作ることは大変だけど達成感はハンパない。

食品コースの魅力

・普段食べている菓子の作業工程が知れる。

一番の思い出

・ライフスキルの授業で飯盒炊さんをしたこと。



小西 央花
(江陽中)

とてもたのしい学校ですよ♡

農業の魅力

・最初から最後まで自分で育てるからだんだん愛着がわいてくる。

食品コースの魅力

・皆で協力しながら楽しく作ったりできるのが魅力。

一番の思い出

・高校に入って一番最初に育てたのがトウモロコシで、自分が作ったものがすごくおいしかったから。

農場の先生紹介 part 5

増馬 克巳 先生

担当教目：作物・食品製造・課題研究ほか

趣味・特技：お米づくり・家庭菜園・お菓子作り
ドローン操縦

部活動：カヌー部・農業クラブ



スイーツ作りで試行錯誤しながら商品を作るのは非常に楽しいです。一緒に作りましょう。

京丹後市SDGs に関するフェアと第13回食文化交流会で発表

11月21日(日)午後、丹後王国「食のみやこ」にて「SDGs 未来都市ゼロカーボンシティ推進フェア in 京丹後」、翌週の27日(土)午後、弥栄地域公民館にて「第13回食文化交流会」が開催されました。2年生食品コース生徒6名(松江勇太・谷口彩音・小西央花・吉岡来夢・吉岡歩未・岡田来夢)が、本年度取り組んでいる「食品ロスについて」、「和久傳さんから教えていただいたこと」について発表しました。

